

i C S し ー タ ー

～東京都フォーラム 特集～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

12月10日（土）に、東京都地域学校協働活動推進フォーラム、コミュニティ・スクール推進フォーラムがオンラインで開催されました。6つの分科会に分かれ、各区市町村の事例発表や意見交換が行われました。板橋区からは、志村第五中「ほっと ルーム」、板橋第五中・板橋第四小CS委員会、成増小 学校支援地域本部が紹介されました。

志村第五中学校 「ほっと ルーム」

志村第五中では、生徒の居場所づくりを目的とした『ほっと ルーム』が開設されています。

小学校と比べて、一般的に支援や連携の具体化が見えにくいとされる中学校において、i C Sが中心となって取り組んでくださっています。昨年度から、地域コーディネーターの方々と校長先生で「充実した図書室を生かして、地域で何かできないか」と考えている中で、校長先生から生徒の居場所づくりの提案がなされたことをきっかけに、『ほっと ルーム』が始まりました。教室ですっと座っていることに苦痛を感じる生徒が「ほっと、一息つくことができる部屋にしたい」との願いから、『ほっと ルーム』と名付けられたこの場所を、よりよくしていくために、CS委員会で熟議を重ねられています。「今いる教員が異動で誰もいなくなったとしても、地域の方々が運営して下さることで、この居場所は守られる」、「生徒が和やかに時間を過ごせるような雰囲気づくりを心掛けていきたい」との思いを、フォーラムで発表されていました。



他にも、八王子市で取り組んでいる、居場所づくり「かわせみ塾」も紹介されました。参加者の情報交換では、「居場所づくりができたので、次は学習支援に取り組んでいきたい」「教室に入りづらい子の親の居場所づくりも必要では？」などの意見が出ていました。

板橋第五中学校・板橋第四小学校 CS委員会

フォーラムでは、CS委員になったばかりの方や、これから委員になる方に向け、委員長と副委員長が、ご自身の経験談やアドバイスをお話くださいました。

板橋第五中と板橋第四小は、学びのエリアで1つのCS委員会をつくっています。令和2年度にCS委員会が始まり、まず最初に『ミッションステートメント（行動指針）』について熟議し「CS委員会って何のためにあるのだろうか」、「自分たちはこういうためにいるんだ」という

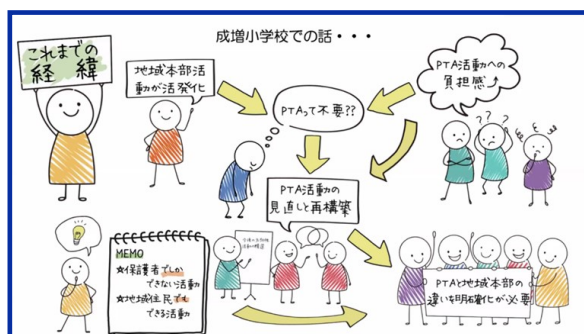
共通認識をもつことから始めた、とのことでした。

また、「教職員は異動してしまうので、この学校はこういう学校なんだということを伝えていく役目は、CS委員である」、「CS委員会を継続できる組織体にするために、どんなメンバーで進めていくかについても、校長先生と正副委員長で話し合っている」と発表してくださいました。そして、「できることを、できる範囲で、できるようにやればいい」という委員長からのお言葉で、これからCS委員になる可能性のある他区市町村の方々を勇気づけてくださいました。

成増小学校支援地域本部 “PTAとの役割の違い”

「学校支援地域本部とPTAの役割の違いがわからない」といった声に対して、成増小の地域コーディネーターの方から、「役割の違いを明確化し、共通理解をする場」について紹介してくださいました。

成増小では、年度末のPTA本部役員引継ぎ会に地域コーディネーターの方が参加し、お互いの活動領域に関する図を見ながら、共通認識を持つようにされています。そして、「保護者に『しか』できないこと」「地域住民『でも』できること」を考えることで、お互いの活動をすみわけ、協力関係を築いているとのことでした。



東京都フォーラムのアーカイブ配信は、 こちらからご覧ください



<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/shien/R4forum/R4archive.html>

配信期間 令和5年2月28日（火）まで

地域コーディネーター情報交換会

令和4年度地域コーディネーター情報交換会を、11月29日（火）・12月2日（金）の2回に分けて開催しました。

情報交換会の中で、中学校の活動事例の紹介を行い、資料を区HPに掲載しました。「学校支援内容チェックシート」など便利な資料もありますので、ぜひご覧ください。



前野小iCSが文部科学大臣表彰を受賞！！



前野小iCSが「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞されました。これは、コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部の一体的実施により、学校運営の改善・強化のみならず、学校を核とした地域づくりにも効果を上げている取組を表彰するものです。前野小では、CS委員からの提案により、放課後学習教室「ドッピー教室」を開始しました。「ドッピー教室」の運営をiCSで行い、地域住民同士の交流が増え、地域コミュニティの活性化にもつながっていらっしやいます。受賞おめでとございます♪